

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立二里小学校		
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究（算数）を中心とした授業実践を通して、学習指導要領に根ざした学びやその指導法、学習過程等の共通理解を図ることができた。成果と課題を明確に整理し、家庭学習の定着と活用する力の育成に向けて「学び合い」を取り入れた学習活動を実践するとともに、他教科、領域での活用を図る。 教育相談や特別支援教育及び個別の支援について、学校全体での体制作りや組織的な対応、職員間での共通理解について取り組むことができた。また、保護者や関係機関と連携を密にとり、協力しながらその子に合った指導や体制づくりを進めることができた。今後は、専門機関からの指導などを取り入れながら、更に充実を図る。 		
2 学校教育目標	進んで学び、心やさしく、たくましい児童の育成 《校訓》心きびきび 精いっぱい		

3 本年度の重点目標	① 「わかる授業」を基盤とした基礎・基本的な学習内容の確実な定着（家庭との連携による基本的な生活習慣と学習習慣の確率） ② 学校及び家庭の教育力を高める組織的な教育相談体制の確立と個別の支援体制の充実（いじめの未然防止等を含む） ③ 運動の楽しさを実感できる体育学習の充実と運動の日常化（体づくりの奨励等）		
------------	---	--	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1) 共通評価項目				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	学校関係者評価		
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組					評価	意見や提言	
●学力の向上	● 全職員による共通理解と共通実践	● 学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上	・ 教職員間でマイプランを共有するとともに授業実践を行う。また、校内研究及び学力向上対策委員会による取組のより一層の推進を図る。							学力向上コーディネーター 研究主任
	○ 「わかる授業」を基盤とした基礎・基本的な学習内容の確実な定着	○ 「授業中、めあてをもって学習し、学習した内容を振り返ることができている」と回答した児童80%以上	・ 「学力向上対策4つの取組」リーフレットを踏まえ、「授業づくりのステップ1・2・3」を活用して、全教科においてめあてを提示し、学びの振り返りを設定する。 ・ 学力向上だよりを発行し、保護者の理解を得る。							学力向上コーディネーター 研究主任
	○ 校内研究を中心とした授業改善に向けた共通理解と共通実践	○ 「総合的な学習の時間・生活科の学習が楽しい」と回答した児童80%以上	・ 学習指導要領に根ざした学びや指導法、学習過程等の共通理解を図り、研修を取り入れることで授業実践を行う。							
●心の教育	● 児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○ 心の教育に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童80%以上	・ ふれあい道徳の実施 ・ 道徳科の授業づくりや、人権・同和教育の実践に関する校内研修等を実施する。							道徳教育推進教師
	● いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○ 教育相談及びいじめ防止等について組織的な対応ができていると回答した教員80%以上	・ いじめ防止マニュアル等に基づいた未然防止と早期発見による共通理解を図る。 ・ 毎週の連絡会で情報共有を図り、必要に応じてケース会議を行い、職員全体で支援体制を整える。 ・ 生活実態調査を年に2回実施し、児童の状況を把握する。 ・ 教育相談月間で個人面談を実施し、児童理解に努める。 ・ 教育相談だよりの発行により、スクールカウンセラー等の教育相談の体制について、児童や保護者に理解を促す。							道徳教育推進教師 生徒指導 教育相談
	◎ 児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	● 「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ● 「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・ 全教育活動を通して、自分の夢や目標の実現を目指して意欲的に取り組もうとする態度を育むキャリア教育を推進する。 ・ コミュニティスクールを活用し、学校と地域が一体となった体験活動等により、郷土への誇りと愛情を育む。							
●健康・体づくり	● 「運動習慣の改善や定着化」	● 授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童60%以上	・ 運動の楽しさを実感できる体育の授業づくりを行い、学習との関連付けにより運動の日常化を図る。 ・ 縦割り班活動を通じ、体を動かすことの楽しさを取り入れた活動を実践していく。							体育主任
	○ 望ましい食習慣と基本的な生活習慣の形成	○ 朝食を摂って登校する児童を80%から85%に増やす。	・ 生活実態調査を実施し、食育に対する意識を向上させる。 ・ ほけんだよりにて啓発する。							給食担当 食育担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	● 業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	● 教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・ 定時退勤日の設定と年休等の取得促進を図る。 ・ 校時程を有効活用し、学級事務・成績処理の時間の確保に努める。							教頭
	○ 業務改善と環境整備に向けた取組	○ 働き方に対する改善が図れたと考える教員80%以上	・ 校務分掌に沿った各部会の業務内容、役割分担の見直し、再編成を図るとともに、適宜、組織の点検、改善を行う。							教頭
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組				中間評価		最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○ 特別支援教育の充実	○ 教員の専門性と意識の向上	○ 特別支援に関する知識や支援の在り方が向上したと考える教員80%以上	・ 個別の支援計画に基づく支援体制を構築し、校内の連携を図る。 ・ 特別支援教育に関する研修会、ケース会議等を開催し、情報の共有化を図る。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望										
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--